

# 「スポ GOMI 甲子園」で日本一！

11月12日(日)に東京で開催された、『日本財団「海と日本プロジェクト」スポ GOMI 甲子園 2023・全国大会』で、本校準特コース3年の服部真周くん・久枝史弥くん・梅田翔希くんの3名が日本一に輝いた。

「スポ GOMI 甲子園」とは、全国の高校生が3名一組となって「高校生、ごみ拾い日本一」を競い合う大会。日本財団が推進する海洋ごみ対策プロジェクト「海と日本プロジェクト・CHANGE FOR THE BLUE」の一環で2019年よりスタートし、今年で5回目を数える。

東明チームは、8月に行われた大分県大会で、全12チームの中から、他チームの2倍以上のごみを拾い、圧倒的な強さで勝利を飾り全国大会へ進んだ。

全国大会では制限時間45分でゴミの量や種類でポイントを争い、全国の代表40チームが奮闘。大分東明チームは32.65キロのゴミを拾い、見事日本一に輝いた。

服部くんら3名は、「地域もきれいになって気持ちがよかったし、地域のみなさんとの交流もできて、良い経験となりました。今後も、大会に関係なく、こういった取り組みを継続したいです。」と感想を述べていた。



※写真左から服部真周くん・久枝史弥くん・梅田翔希くん